

事務事業名	伊那谷自然史資料展示公開事業			会計	一般会計	実施区分	継続		
				事業種別	政策	開始	1 終了		
H29作成課等名	美術博物館	H29係等名	学芸係	H28担当課等名 美術博物館					
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり						
	施策	29	ふるさと意識の醸成						
目的	対象(誰・何を)	1 飯田下伊那広域圏の地域住民 2 学芸員の調査・研究活動			対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	1 特別展等の開催を通じて、自然や文化・芸術に対する関心を高め、新たな知識や感動を提供する。 2 調査研究活動の内容を地域に還元する。				圏域住民数(人)	160827		
	向上させたい上位施策の成果指標	1飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	特別展等館主催展覧会の観覧者数(延べ人数)			8000	10689	8000	5929	
	成果指標	企画展(特別展・企画展・特別陳列)の回数(回)			2	2	1	1	
定性目標									
事業概要	1 伊那谷の自然に関わる特別展・企画展・特別陳列などの企画展示、及びロビー展示 2 伊那谷の自然に関する調査・研究・資料収集活動の成果を、展示を通して市民へ還元する 3 自然常設展示								
28年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 自然企画展示 (1)企画展示「高山帯のダイナミズム」 平成28年7月16日～9月25日 2 図録・リーフレット等の発刊 3 自然常設展示・野外展示の更新				1 自然展覧会回数		1 1回		
					2 図録・リーフレット等の発刊数		2 1件		
				3 自然常設展示等の更新箇所数		3 2カ所			
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①	3,880	3,867	3,559	0	(国)社会資本整備総合交付金(市街地整備)(4.5/10)				
国庫支出金	999	1,235	945						
県支出金									
起債									
その他									
一般財源	2,881	2,632	2,614						
人件費計(千円)②	0	0	0	0					
正規職員所要時間									
臨時職員所要時間									
総事業費①+②	3,880	3,867	3,559	0					
事業内容・目標達成状況の振り返り	企画展を1回行った。観覧者は目標数を下回ったが、今まで得られなかった高山帯の地形・地質資料を収集することができた。また、試みとして現地の映像を利用したVR的な解説会を行ったが好評であった。								
改革改善の考え方	①問題点	企画展の成果が常設展示の更新にほとんど生かされていない。また常設展示更新で必要とされる資料が十分得られていない。							
	②改革提案	常設展示更新を展望しながら、企画展のテーマを設定していく。							